

(資料 1-1)

第3次山口市男女共同参画基本計画

実施状況報告書（令和5年度分）

地域生活部 人権推進課

目 次

基本目標1 すべての世代が男女共同参画の意義を理解するための環境づくり

- 施策の方向性1 男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成 … 1
- 施策の方向性2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実 … 3
- 施策の方向性3 職場における啓発活動 … 4

基本目標2 あらゆる分野で男女ともに活躍できる環境づくり

- 施策の方向性1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大 … 5
- 施策の方向性2 働く場における男女の活躍促進 … 6
- 施策の方向性3 仕事と生活の調和の推進 … 9
- 施策の方向性4 地域・社会活動における男女共同参画の推進 … 10

基本目標3 男女ともに健康で安全・安心な暮らしづくり

- 施策の方向性1 男女間のあらゆる暴力の根絶 … 12
- 施策の方向性2 生涯を通じた健康増進の支援 … 14
- 施策の方向性3 困難を抱えた方への支援 … 15

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 （実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等）	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画 頁数
1 すべての世代が男女共同参画の意義を理解するための環境づくり							
1 1 実現に向けた意識の醸成							
1 1 1 人権を尊重した取組の推進							
1	1	1	メディア・リテラシーに関する啓発	ドコモCS中国やKDDIから専門の講師を招き、児童・生徒がメディアを使用するうえで必要なメディア・リテラシーに関する講演会を実施（市立小学校：21校／31校 市立中学校：13校／18校） メディア・リテラシーに関する課題を児童生徒対象の授業で実施するように、各小・中学校に依頼	SNS等の適切な使用や児童・生徒の安全に配慮していくために、児童・生徒のメディア・リテラシーの更なる向上に取り組みます。	学校教育	17
			メディア・リテラシーに関する啓発	インターネット・ファミリールール作成推進事業として、幼小中学校での啓発講座の開催や、啓発用リーフレットを作成し、配付	引き続き、ネット社会の現状や家庭でのルール作りの必要性等について、学校や地域での啓発に取り組んでいきます。	社会教育	
			人権を尊重した表現の推進	市報、広報番組（テレビ、ラジオ）、市ウェブサイトで担当部署の依頼や広報広聴課の企画により、人権啓発や男女共同参画社会の実現に向けて、人権学習講座やゆめぼぼら講座の開催等随時広報した ・市報 ・私たちのまち山口（テレビ） ・やまぐちしま専科（テレビ） ・このまちに愛たい（テレビ） ・インフォやまぐち（テレビ字幕） ・山口マイタウン（ラジオ） ・シティインフォメーション（ラジオ） ・市ウェブサイト…各所管部署により随時掲載	今後とも、情報量やターゲットを踏まえて広報媒体を選択し、効果的な広報活動の推進に努めます。	広報広聴	
1 1 2 市民意識の醸成に向けた取組の推進							
1	1	2	固定的性別役割分担意識の解消	男女共同参画センターゆめぼぼら講座 ・親子でユーモアづくりワークショップーことばであそぼ！ー 講師：大喜利ファシリテーター/エヌアライアンス㈱代表取締役 山本 ノブヒロ 氏 開催日：11月18日 場所：パルトピア山口 参加者数：29名 ・大喜利ワークショップ～明日の暮らしを、仕事を、ことばでオモシロく～ 講師：同上 開催日：同上 場所：同上 参加者数：21名 ・モヤモヤに効く本の処方箋ー読みきかせ＆ブックトークとおしゃべりの会ー 協力：“ぶどうの木”ー山口市子どもと読書ネットワークー 開催日：11月25日 場所：男女共同参画センター 参加者数：16名 市内小中学校に対して、文部科学省「学校と地域で育む男女共同参画促進事業」により作成された教材・保護者向け啓発資料及び教員用指導の手引きの授業等での活用を依頼 活用学校数：小学校16校、中学校3校	講座の開催や学校での授業等をとおして、固定的性別役割分担意識の解消に努めました。 今後も、講座の開催等をとおして、固定的性別役割分担意識の解消に努めるとともに、調査等の実施により、現状把握を行います。	人権推進	18
			広報・啓発の推進	男女共同参画に関する情報の提供 ・市報や市ウェブサイトによるゆめぼぼら講座、男女共同参画に関するイベント情報等の提供 ・男女共同参画センターによる図書や資料（DVD教材等）の収集と提供 ・情報誌「live（ライブ）」第25号の発行 部数：75,000部 ・「山口市男女共同参画センターかわら版」の発行（年2回） 部数：各1,000部 ・男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせて、男女共同参画に関する啓発記事を市報や市ウェブサイトに掲載し、男女共同参画センター・各総合支所・隣保館に啓発幟を掲出したほか、新山口駅南北自由通路マルチディスプレイに、ポスター画像と、県が行った男性の家事・育児参画に関する啓発動画コンテストの最優秀賞作品を掲出 ・山口県男女共同参画推進月間（10月）に、秋穂・阿知須・徳地図書館にて、男女共同参画に関する図書展示と周知啓発を実施（期間中來場者数：7,043人） ・山口大学の学生団体kieli（キエリ）と連携し、SNSを通じて男女共同参画の推進に関する情報発信を開始 第1回山口市じんけんフェスタ 開催日：12月10日 場所：山口県総合保健会館 【出展】 ・出張！男女共同参画センター（センター利用団体の活動紹介展示、親子で楽しめる体験コーナー） 出展団体：8団体 参加者数：延べ245人 ・じんけんDVDの上映、啓発パネル・資料の展示、ワークショップ 【式典・講演会】 参加者数：476名 ・オープニングアトラクション 「山口県立大学手話サークル☆幸せの星」による手話歌 ・主催者あいさつ、表彰、作文朗読 ・講演「私らしさと居場所の見つけ方」 講師：ジェーン・スー 氏（コラムニスト、ラジオパーソナリティー） 男女共同参画センターゆめぼぼら特設ウェブサイト及びリーフレットのリニューアル	男女共同参画センターゆめぼぼらからの情報発信をはじめ、市報や市ウェブサイトの活用、情報誌の発行やイベントの開催、強化週間・月間に合わせた集中的な広報など、多様な手段と機会を通じ、男女共同参画に関する啓発に努めました。 今後もこれらの取り組みを継続するとともに、新たな広報手段の活用と既存広報物の内容の見直しを随時行います。	人権推進	

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画 頁数
1	1	2	市民活動団体等の活動の支援	男女共同参画センターへの団体登録（使用料の免除等） 対象団体：7団体 男女共同参画に関する意識啓発や資質向上を図る事業への補助金の交付 ・特定非営利活動法人山口市男女共同参画ネットワーク ・Humming Bird（ハミング バード） ・小郡女性団体連絡協議会 ・カレッジおごおり 男女共同参画に関する意識啓発や資質向上を図る事業への後援 ・やまぐちネットワークエコー ・特定非営利活動法人やまぐち男女共同参画会議 ・公益財団法人山口きらめき財団 ・山口県行政書士会	市民活動団体の交流拠点として、男女共同参画センターゆめぼらの機能強化を図るとともに、男女共同参画を推進する市民活動団体等に対し、様々な形により支援を行いました。 今後もこれらの取り組みを継続し、男女共同参画の推進に関する活動の支援に努めます。	人権推進	18
			大学との連携	山口大学が実施機関として推進する「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」補助事業に係る「やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム」に協力機関として参画 山口大学の学生団体kieli（キエリ）と連携し、SNSを通じて男女共同参画の推進に関する情報発信を開始 山口県主催による「やまぐち女性活躍応援団・地域シンポジウムin山口」に、共催機関として、山口大学、山口県立大学とともに参加 「女性に対する暴力をなくす運動」期間において、山口大学及び学生団体kieli（キエリ）との共催により、山口大学構内にて、パープルライトアップやのぼりの掲示をはじめとする啓発活動を実施	市内の大学と連携し、様々な機会や手段を通じて、男女共同参画に関する啓発活動を行いました。 今後もこれらの取り組みを継続し、大学との連携による男女共同参画の啓発に努めます。	人権推進	19
		2	性の多様性に関する理解の促進	山口市人権学習講座 「性の多様性及び人権について」 講師：有限会社BoBtail取締役 河本 るい 氏 開催日：1月11日 場所：二島地域交流センター 参加者数：27名	オンライン参加も可能な講座を開催し、意識啓発を行いました。 今後も、様々な立場の人の人権が尊重されるよう、性の多様性に関する正しい知識や理解を深めるための啓発に努めます。	人権推進	
		2	児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施	児童生徒が自身が秘匿しておきたい場合があること等に留意しつつ、教職員等の間で情報当事者である児童生徒やその保護者に対し、情報を共有する意図を十分に説明・相談し、理解を得て対応を進めた また、最初に相談を受けた者だけで抱え込むことなく、ケース会議等を適時開催しながら、組織的に対応を行った	他の児童生徒や保護者との情報の共有は、当事者である児童生徒や保護者の意向等を踏まえ、個別の事情に応じて進めます。	学校教育	
		2	国際理解の推進	各種交流事業の実施 ・世界水泳選手権2023福岡大会に向けた水泳スペイン代表選手の事前キャンプ受け入れ時、阿知須空手道スポーツ少年団による空手の演武披露、嘉川保育園園児のスペイン語での歓迎の挨拶等の歓迎レセプションや、アーティスティックスイミング選手による阿知須中学校訪問、競泳選手と山口県立大学の学生との交流事業を実施 ・日本人市民と外国人市民参加によるベトナム料理づくりと多文化交流会を実施 ・オーストラリア・シドニーからオンラインによるオーストラリアのクリスマス紹介及びクリスマスマーケットライブ中継を実施 ・姉妹都市スペインパンプローナ市にあるカテナ小学校と附属山口小学校の児童が絵葉書交換と動画紹介を通じた交流を実施 ・ハワイ・マウイ島の高校生と市内在住・在学高校生によるオンライン交流を実施 ・フランス・ラムネ高校と山口高等学校の生徒によるオンライン交流を実施 学校や地域において、国際交流員によるスペイン文化講座等を開催	今後も引き続き交流事業を実施し、国際理解の推進を図ります。	国際交流	人権推進
			国際理解の推進	男女共同参画センターゆめぼら講座 公開講演&トークの集い やまぐちの女性活躍新時代～どうする男性参画～ 講師：山口県立大学学長 田中 マキ子 氏、山口大学経済学部教授 小川 仁志 氏 開催日：1月27日 参加者数：240名 男女共同参画に関する意識啓発や資質向上を図る事業への補助金の交付 助成事業：藤田早苗講演会「人権と思いやりは別物」 実施団体：Humming Bird（ハミング バード） 参加者数：46名 男女共同参画に関する意識啓発や資質向上を図る事業への後援 後援事業:公開講演&トークの集い 「世界の国々の女性活躍～ノルウェー&日本の今、そしてこれから～」 実施団体：特定非営利活動法人やまぐち男女共同参画会議 参加者数：218名	講座の開催や民間団体が主催する事業への助成・後援等をとおして、諸外国の男女共同参画の状況等について理解を促しました。 今後もこれらの取り組みを継続し、国際理解を進めるとともに、国際協調の機運を高めます。	人権推進	

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画 頁数				
1	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実									
1	2	1	家庭教育における男女共同参画意識の醸成								
1	2	1	家庭教育における男女共同参画意識の醸成	家庭教育講座「子そだてマナビィ」の実施（10回） ・子育て世代の保護者または親子を対象に、各年齢に応じた家庭教育講座を実施 ・託児を設けることで、父親や母親、また夫婦で参加しやすい環境を整え、男女共同参画を促した	講座の中で、家庭教育における男女平等や、性別役割分担意識の改善にふれることができました。 また相談を通じて、家庭教育における男女平等と性別役割分担意識の改善を伝えていけるよう、支援と環境づくりを行っていきます。	社会教育	20				
				広報カード、ポスターの配布（配布枚数：27,221枚） ・事業概要を記載した広報カードを、児童施設・子育て広場・保健センター・小児科病院・私学・認可外保育園・中学校・地域交流センター・中央図書館へ配布 ・ポスターを、児童施設・子育て広場・保健センター・地域交流センター等へ配布 家庭教育訪問支援ダイヤルの設置・家庭教育応援サイトの開設 電話・メールにより相談を受け、家庭教育支援員の派遣、専門機関や活動団体を紹介（延べ受付件数：電話20件、メール0件、アンケート7件、その他6件） 家庭教育アドバイザーの派遣（派遣回数：延べ45件） 家庭教育アドバイザーが希望者の家庭に訪問し、アドバイス、情報提供等を行った							
		2	多様な選択を可能にする学校教育等の推進								
		2	多様な選択を可能にする教育・学習機会の充実	進路指導においては、望ましい勤労観・職業観を育てる教育を推進し、性別による固定的な職業・進学にこだわらない指導を行った また、教育活動全体を通して生徒指導を行う中で、人権の尊重や他者への思いやりの心を育てることに留意し、個性・能力・資質を尊重した指導を推進した				今後も、性別や能力等にこだわらない望ましい人間関係を築くための生徒指導の取組を推進します。 また、キャリア教育を推進し、個性等を尊重した進路選択ができるよう、指導の充実を図ります。	学校教育	20	
多様な選択を可能にする教育・学習機会の充実	市内小中学校に対して、文部科学省「学校と地域で育む男女共同参画促進事業」により作成された教材・保護者向け啓発資料及び教員用指導の手引きの授業等での活用を依頼 活用学校数：小学校16校、中学校3校		文部科学省作成の教材や啓発資料等の活用を促すことで、固定的な性別役割分担意識や無意識の偏見解消のための学習機会の確保を図りました。 今後も取り組みを継続し、本教材や啓発資料を活用する学校数の増加を図ります。	人権推進							
2	学校教育等における男女共同参画意識の醸成	男女共同参画社会の実現のため、性別にとらわれることなく、自分の夢に向かって個性や能力を伸ばすことの大切さについて考えるための資料を準備し、指導を行った	職場体験等を通じて、自分の個性や能力を活かすことで、将来の就職に向けた進路を選択する際などに、性別は関係ないという意識を高めることができます。	学校教育							
		学校教育等における男女共同参画意識の醸成	「幼児教育を行う施設」として、市内の幼稚園・保育園・認定こども園等において、幼児期に「育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共通に示した幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、幼児教育の充実に努めた	引き続き、各園の特色を活かしながら、幼児教育の充実に努めます。	保育幼稚園						

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標		施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画 頁数	
1	2	3	生涯にわたる男女共同参画学習の推進						
1	2	3	男女共同参画の視点を踏まえた生涯学習や能力開発の推進	地域交流センターにおいて、男女共同参画に関する講演・講座座を開催 また、託児を行うなど、参加しやすい環境整備を行った ・小鯖地域交流センター パソコン講座（年16回開催） 参加者数：延べ136名 ・小鯖地域交流センター パソコン相談（年23回開催） 参加者数：延べ13名 ・小鯖地域交流センター ハロウィン飾りづくり講座 参加者数：7名 ・小鯖地域交流センター 干支の置物づくり講座 参加者数：16名 ・小鯖地域交流センター クリスマスケーキづくり講座 参加者数：10名 ・小鯖地域交流センター 七草がゆふるまい 参加者数：60名 ・小鯖地域交流センター 竹馬づくり講習会 参加者数：80名 ・名田島地域交流センター アウトドアヨガin南部（年2回開催、託児あり） 参加者数：延べ39名 ・嘉川地域交流センター 嘉川子育て支援講座（年2回開催） 参加者数：延べ70名 ・嘉川地域交流センター 親子料理教室（年2回開催） 参加者数：延べ21名 ・嘉川地域交流センター ワークショップ” 食べるヨガ” 参加者数：5名 ・佐山地域交流センター 夏休みじんけんアニメ鑑賞会 参加者数：31名 ・佐山地域交流センター 第26回佐山地区人権学習里づくり集会 参加者数：250名	今後も引き続き、各種講座の開催を通して意識啓発等を行っていきます。	社会教育	21		
			男女共同参画の視点を踏まえた生涯学習や能力開発の推進	男女共同参画センターゆめぼら講座 ・親子でユーモアづくりワークショップーことばであそぼ！ー 講師：大喜利ファシリテーター/エヌアライアンス㈱代表取締役 山本 ノブヒロ 氏 開催日：11月18日 場所：パルトピア山口 参加者数：29名 ・大喜利ワークショップ～明日の暮らしを、仕事を、ことばでオモシロく～ 講師：同上 開催日：同上 場所：同上 参加者数：21名 ・モヤモヤに効く本の処方箋ー読みきかせ&ブックトークとおしゃべりの会ー 協力：“ぶどうの木”ー山口市子どもと読書ネットワークー 開催日：11月25日 場所：男女共同参画センター 参加者数：16名 ・地域における男女(とも)に活躍推進リーダー研修 地域が輝く～みんな誰でも活躍世代～ 講師：山口大学経済学部教授/ダイバーシティ推進担当副学長 鍋山 祥子 氏 開催日：12月3日 参加者数：67名 ・働くきっかけ応援セミナー 1回目：ファイナンシャルプランナーによる家計不安解消&103万円の壁突破術 講師：ファイナンシャルプランナー/株式会社FPオフィス縁 代表取締役 中村 恒瑛 氏 開催日：12月2日（土） 参加者数：25名 2回目：キャリアコンサルタントによる適職診断 講師：国家資格キャリアコンサルタント/.Style代表 小西 凡子 氏 開催日：1月20日 参加者数：21名 3回目：教えて！在宅ワーク先輩！&Canva活用術 講師：きっかけねっと代表/任意団体kikkake代表 池田 恭子 氏 開催日：2月17日 参加者数：41名 ・公開講演&トークの集い やまぐちの女性活躍新時代～どうする男性参画～ 講師：山口県立大学学長 田中 マキ子 氏、山口大学経済学部教授 小川 仁志 氏 開催日：1月27日 参加者数：240名 男女共同参画講演会 聞かせて「女性の活躍」今もう一度、金子みすゞのまなざしを！講演会&コンサート 講師：シンガーソングライター/ラジオパーソナリティ ちひろ 氏 開催日：10月28日 場所：小郡地域交流センター 参加者数：125名 男女共同参画に関する意識啓発や資質向上を図る事業への補助金の交付：計4団体 男女共同参画センター図書貸出冊数：189冊（令和4年度86冊）	ゆめぼら講座の開催や、民間団体が行う事業への助成などを通じて、男女共同参画の視点を踏まえた学習機会の創出を行いました。 また、男女共同参画センターの図書貸出冊数は、広報の成果もあり昨年度の実績を大きく上回りました。 今後も取り組みを継続し、生涯学習や能力開発の推進を図ります。	人権推進			
1	3	職場における啓発活動							
1	3	1	男女共同参画意識の醸成に向けた取組の推進						
1	3	1	職場での意識啓発	「女性職員キャリアアップ研修」を行い、女性職員のモチベーションアップを図った 開催日：8月9日 場所：山口市役所 参加者：30名	研修の開催による意識啓発を行いました。 今後も引き続き、啓発に努めます。	職員	22		
			職場での意識啓発	市役所の新規採用職員を対象に、人権と男女共同参画に関する研修を実施 開催日：4月7日 場所：山口市役所 参加者数：62名	男女共同参画の推進については、市民生活のあらゆる分野に関わるものであり、新規採用職員に対して基礎的な知識に関する研修を行い、理解の促進を図りました。 今後も取り組みを継続し、市職員の意識啓発に努めます。	人権推進			
1	3	2 ハラスメント防止に関する啓発							
1	3	2	ハラスメント防止に関する啓発	国、県から送付された啓発資料について、関係機関に配布及び周知依頼を行った また、ふるさと産業振興課前にポスターを掲示し、パンフレットを設置	引き続き、パンフレットの配布等により、意識啓発を推進します。	ふるさと産業振興	22		
			ハラスメント防止に関する啓発	市職員のうち、主に主任級及び一般職員を対象に「ハラスメントの理解・対応研修」を実施 開催日：8月29、30日 場所：山口市役所 参加者：322名	市職員のハラスメントへの理解を深め、意識を高めました。	職員			
			ハラスメント防止に関する啓発	ハラスメントに関する問題について、教職員の校内研修等において取り上げた	教職員においても、ハラスメントに関する意識の涵養について研修を行っています が、継続して続けていく必要があります。	学校教育			
			ハラスメント防止に関する啓発	山口市人権学習講座 「職場におけるハラスメント～その防止と対策を考える～」 講師：リソー社会保険労務士法人代表 宇佐美 理世 氏 開催日：10月26日 場所：秋穂地域交流センター 参加者数：19名	人権学習講座のひとつとして、職場におけるハラスメントに関する講演を行いました。 今後も様々なハラスメントの防止に向けた意識啓発に努めます。	人権推進			

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 （実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等）	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画頁数
1	3	3	ハラスメントに関する相談体制の充実				
			ハラスメントに関する相談体制の充実	各学校において校内綱紀保持委員会を設置し、校長のリーダーシップの下、研修を実施 また、校内での相談体制の充実のほか、校外の相談機関の周知にも努めている	年間複数回、同テーマの研修を実施する学校も多くありました。 今後は研修内容を工夫することでマンネリ化させないように注意し、職場における更なる啓発に取り組みます。	学校教育	22
			ハラスメントに関する相談体制の充実	「女性相談員による相談」の実施 男女共同参画センターにDVやハラスメント等に関する相談専用電話を設け、市民及び山口市にお勤めの方を対象に、週5日、女性相談員による相談窓口を開設 相談件数：234件（前年度197件） 「男性相談員による電話相談」の実施 市民及び山口市にお勤めの主に男性を対象に、様々な悩みごとに関する相談窓口として、男性相談員による電話相談を、毎月第2・第4金曜日の17時から19時に開設 相談件数：8件（前年度1件）	男女共同参画センター相談窓口では、女性相談員を増員することで、より相談しやすい環境を整備しました。 引き続き、被害者に寄り添った支援を行えるよう必要な体制の構築に努めます。 また、男性相談員による電話相談は、原則月2回に実施回数を増やすとともに広報を充実させたことで、前年度に比べ相談件数を増やすことができました。 引き続き体制整備を図るとともに、利用の周知に努めます。	人権推進	
2 あらゆる分野で男女ともが活躍できる環境づくり							
2	1	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大					
2	1	1	市の政策・方針決定過程への女性の参画推進				
2	1	1	市の施策・方針決定過程への女性の参画促進	山口市男女共同参画推進本部会議に現状を報告し、各部局長に対し、指針に基づいて女性委員の登用を推進するよう要請を行うとともに、女性のいない審議会等を対象に女性委員の登用を依頼 また、女性委員登用に関するチェックリスト兼報告書の様式を新たに作成し、市の政策・方針決定過程に影響を及ぼす審議会等の委員委嘱の際に使用を義務付けることで、取り組みの徹底を図った 審議会等委員に占める女性の割合：30.0%（前年度29.1%）	山口市男女共同参画推進本部会議において、女性委員の登用を推進するよう引き続き要請を行うとともに、各部局に対して、チェックリスト兼報告書を用いた取り組みの徹底を指示しました。 引き続き取り組みの徹底を求め、審議会等委員に占める女性割合の増加を図ります。	人権推進	29
		1	市における男女共同参画の推進	令和5年4月1日採用者数 男性：30名 女性：34名 管理職の登用状況 管理職に占める女性職員の割合：11.9%（185名のうち 女性22名） 内訳 部長級25名のうち 女性0名、部次長級30名のうち 女性3名、課長級130名のうち 女性19名 令和4年11月に「職員のための育児ハンドブック」を更新し、各所属に通知するとともに、制度概要と手続き方法について周知を図った	採用については、全ての職種において男女の区別なく採用試験を実施することにより、優秀な職員を採用することができています。 登用・配置については、昨年度と比較し、管理職に占める女性職員の割合が上昇しました。 また、今後も引き続き、男女の区別なく、育児に関する休暇や休業等を取得しやすい職場環境の整備に努めます。	職員	
2	1	2	企業・団体・農林水産業における方針決定過程への女性の参画促進				
2	1	2	企業・団体における女性の参画促進	山口県主催による「やまぐち女性活躍応援団・地域シンポジウムin山口」に、山口大学、山口県立大学とともに共催機関として参加 情報誌「live（ライブ）」第25号の発行 部数：75,000部 山口市人権学習講座 「職場におけるハラスメント～その防止と対策を考える～」 講師：リソラ社会保険労務士法人代表 宇佐美 理世 氏 開催日：10月26日 場所：秋穂地域交流センター 参加者数：19名	県主催シンポジウムに市内の大学・企業等と共に参加し、地域における女性活躍の現状とこれからのに関するパネルディスカッション等を行ったほか、live第25号では女性の参画を促す特集記事を掲載しました。 また、引き続き講座等により、女性活躍に関する意識啓発を行いました。 今後も様々な機会を通じて、女性の参画を促す取り組みを行います。	人権推進	29
			農林水産業における女性の参画促進	女性を含めた農業者の経営を学ぶセミナーを下記のとおり開催 成果の出る農場づくり講座（延べ6回開催） 参加者数：5名（うち女性2名）	昨年度に引き続き、セミナーを通じて農業経営への参画について意識啓発を行いました（本事業は令和5年度で終了）。	農業振興	30
			農林水産業における女性の参画促進	山口防府地域農山漁村女性連携会議 開催日：5月26日、8月4日 参加者数：各1名	今後も、関係機関と連携し、農山漁村女性の活躍の促進に継続して取り組んでいきます。	水産港湾	
		2		農林水産業における女性の参画促進	山口県農業委員会女性協議会ブロック別研修会（中部ブロック） 8月8日 4名参加（防府市役所） 中国・四国ブロック農業委員会女性委員研修会 11月16日～17日 3名参加（高松市かがわ国際会議場） 山口県農業委員会女性協議会第1回研修会 12月5日 7名参加（防長苑） 委員への女性登用要望対応及び要望団体との意見交換 1月19日 会長及び会長職務代理者（山口市役所） 女性の農業委員会活動推進シンポジウム 3月6日 1名参加（東京都砂防会館） 女性農業委員登用のための研修会 3月7日 1名参加（東京都主婦会館） 山口県農業委員会女性協議会第16回総会及び第2回研修会 3月21日 6名参加（防長苑）	今後も、関係機関と連携し、農業委員会への女性の参画促進に継続して取り組んでいきます。	

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標		施策の方向性		基本的施策		具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画 頁数	
2	1	3 人材発掘とリーダー育成									
2	1	3	学習機会の充実	生涯学習公開講座の開催 市内高等教育機関等との連携により公開講座を実施 講座実施回数：山口大学公開講座 20回（共催）、放送大学巡回講座 3回 参加者数：延べ754名 お気軽講座の実施 市の制度や取組について、市民グループのニーズに応じて市職員が講師となって紹介 実施回数：45回 参加者数：2,032名 山口シティカレッジの開催 男女共同参画社会の実現に向けて、地域の生活課題について学習し、地域社会やグループ・団体など身近な活動にその成果を活かすことのできる人材を養成することを目的とし、月1回講座を開催 修了生：40名					生涯学習公開講座については、市内高等教育機関と連携し、より専門的な学習内容となるよう協議していきます。 お気軽講座については、年間を通じて多様な団体から申し込みがあり、今後も講座をとおして市民グループのニーズに応えています。 また、山口シティカレッジについては、運営を受講生が担うなど、主体的に学習活動に取り組まれています。	社会教育	30
			学習機会の充実	男女共同参画センターゆめぼら講座 ・親子でユーモアづくりワークショップーことばであそぼ！ー 講師：大喜利ファシリテーター/エヌアライアンス(株)代表取締役 山本 ノブヒロ 氏 開催日：11月18日 場所：バルトピア山口 参加者数：29名 ・大喜利ワークショップ～明日の暮らしを、仕事を、ことばでオモシロく～ 講師：同上 開催日：同上 場所：同上 参加者数：21名 ・モヤモヤに効く本の処方箋ー読みきかせ&ブックトークとおしゃべりの会ー 協力：“ぶどうの木”ー山口市子どもと読書ネットワークー 開催日：11月25日 場所：男女共同参画センター 参加者数：16名 ・地域における男女(とも)に活躍推進リーダー研修 地域が輝く～みんな誰でも活躍世代～ 講師：山口大学経済学部教授/ダイバーシティ推進担当副学長 鍋山 祥子 氏 開催日：12月3日 参加者数：67名 ・働くきっかけ応援セミナー 1回目：ファイナンシャルプランナーによる家計不安解消&103万円の壁突破術 講師：ファイナンシャルプランナー/株式会社FPオフィス縁 代表取締役 中村 恒瑛 氏 開催日：12月2日（土） 参加者数：25名 2回目：キャリアコンサルタントによる適職診断 講師：国家資格キャリアコンサルタント/.Style代表 小西 凡子 氏 開催日：1月20日 参加者数：21名 3回目：教えて！在宅ワーク先輩！&Canva活用術 講師：きっかけねっと代表/任意団体kikkake代表 池田 恭子 氏 開催日：2月17日 参加者数：41名 ・公開講演&トークの集い やまぐちの女性活躍新時代～どうする男性参画～ 講師：山口県立大学学長 田中 マキ子 氏、山口大学経済学部教授 小川 仁志 氏 開催日：1月27日 参加者数：240名 男女共同参画講演会 聞かせて「女性の活躍」今もう一度、金子みすゞのまなざしを！講演会&コンサート 講師：シンガーソングライター／ラジオパーソナリティ ちひろ 氏 開催日：10月28日 場所：小郡地域交流センター 参加者数：125名 男女共同参画に関する意識啓発や資質向上を図る事業への補助金の交付：計4団体					ゆめぼら講座の開催や、民間団体が行う事業への助成などを通じて、男女共同参画の視点を踏まえた学習機会の創出を行いました。 なお、講座・講演会の開催にあたっては、誰もが参加しやすいように場所・託児・要約筆記等の充実に努めました。 今後も取り組みを継続し、学習機会の充実を図ります。	人権推進	
			地域におけるリーダー育成	男女共同参画センターゆめぼら講座 地域における男女(とも)に活躍推進リーダー研修 地域が輝く～みんな誰でも活躍世代～ 講師：山口大学経済学部教授/ダイバーシティ推進担当副学長 鍋山 祥子 氏 開催日：12月3日 参加者数：67名					ゆめぼら講座のひとつとして、地域リーダー育成のための研修会を開催しました。 山口大学の学生も参加し、様々な年代の男女がともに地域課題について考える機会となりました。 今後も取り組みを継続し、研修機会の拡充を図ります。	人権推進	
2	2 働く場における男女の活躍促進										
2	2	1 男女の均等な雇用機会と待遇の確保									
2	2	1	関係法令の周知	国、県から送付された啓発資料について、関係機関に配布及び周知依頼を行った また、ふるさと産業振興課前にポスターを掲示し、パンフレットを設置					引き続き、パンフレットの配布等により、意識啓発を推進します。	ふるさと産業振興	31
		1	柔軟な働き方の導入	山口市働く女性の活躍応援事業 女性従業員を対象に、女性が働きやすい職場環境づくりを見つめなおし、就労環境向上を学ぶ講演及び異業種の女性従業員同士の交流の場としてのグループワークを実施 ・女性のための働きやすい職場環境づくりセミナー 開催日：11月9日 参加者数：5名 国、県から送付された啓発資料について、関係機関に配布及び周知依頼を行った また、ふるさと産業振興課前にポスターを掲示し、パンフレットを設置					引き続き、セミナーを開催することで、女性の就労環境向上に対する意識啓発を行います。 また、パンフレットの配布等により、意識啓発を推進します。	ふるさと産業振興	

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画 頁数
2	2	2	女性の職域拡大と管理職への登用促進				
2	2	2	企業への啓発	山口市働く女性の活躍応援事業 性別による役割分担意識を解消し、男性社員の家事・育児への参画促進や育児休暇取得、男女ともにワークライフバランスが充実した働き方の啓発を目的として「女性活躍のための職場環境改善セミナー」、参加企業の個別相談及び市内の女性活躍応援企業のヒアリングを実施 ・女性活躍推進のための職場環境改善セミナー 開催日：11月15日 参加者数：5名 ・セミナー参加企業の個別相談 実施企業：5社 ・市内の女性活躍応援企業のヒアリング 実施企業：5社 国、県から送付された啓発資料について、関係機関に配布及び周知依頼を行った また、ふるさと産業振興課前にポスターを掲示し、パンフレットを設置	引き続き、女性人材の更なる活躍に向けたセミナーの開催及び個別相談等を実施することで、働く女性が活躍できる職場環境改善に向けた意識啓発を行います。 また、パンフレットの配布等により、意識啓発を推進します。	ふるさと産業振興	31
			企業への啓発	山口県主催による「やまぐち女性活躍応援団・地域シンポジウムin山口」に、山口大学、山口県立大学とともに共催機関として参加 情報誌「live（ライブ）」第25号の発行 特集記事：職場で、家庭で、地域で、ともに“私らしく” 部数：75,000部	県主催シンポジウムに市内の大学・企業等と共に参加し、地域における女性活躍の現状とこれからの関するパネルディスカッション等を行ったほか、live第25号では女性の参画を促す特集記事を掲載し、企業・職場人権学習連絡協議会の会員へ配布しました。 今後も様々な機会を通じて、研修や情報提供等の取り組みを行います。	人権推進	
		2	公共調達の受注者等の決定における優遇措置	指定管理者の選定時に、男女共同参画が進んでいる事業者を評価できるよう、指定管理者制度運用ガイドラインを令和6年3月に改訂	引き続き、他自治体等の取り組みを参考に、研究を進めます。	総務	
			公共調達の受注者等の決定における優遇措置	物品調達及び業務委託に関するプロポーザル実施取扱要領について、男女共同参画の推進状況を指標の事例とすることについて検討を行い、令和6年4月1日施行で「やまぐち男女共同参画推進事業者等の登録状況」を「社会貢献（倫理観）」の指標として例示する改正を行った なお建設工事については、総合評価方式による入札において、男女共同参画関連の評価項目を設定することが考えられるが、令和5年度は総合評価方式による入札を行っていない	今後、物品調達及び業務委託についてプロポーザル方式により発注する際には、改正後の要領に基づき、案件ごとに発注課において「やまぐち男女共同参画推進事業者等の登録状況」を指標として採用するか否かを検討することになります。	契約監理	
		2	働く女性のキャリアアップ支援	山口市働く女性の活躍応援事業 未就労女性を対象に、育児や介護などの理由で離職した女性や、長時間の就労ができない女性人材の就職に向けた第一歩を支援するため、未就労の女性人材の就労意欲高揚を目的とするセミナーと求職者と企業との交流会となる「ジョブカフェ」を実施 ・私らしさを見つけよう！「スタートアッププログラム」 開催日：11月10日、11月16日 参加者数：計31名 ・私らしさに磨きをかけよう！「スキルアッププログラム」 開催日：11月30日、12月13日、1月17日 参加者数：計35名 ・ジョブカフェ 開催日：1月31日 参加者数：14名 参加企業：10社	引き続きセミナー及び交流会を行うことで、再就職に対する意識を高め、就業を促進します。	ふるさと産業振興	32
			働く女性のキャリアアップ支援	男女共同参画センターゆめぼぼら講座 働くきっかけ応援セミナー 1回目：ファイナンシャルプランナーによる家計不安解消＆103万円の壁突破術 講師：ファイナンシャルプランナー/株式会社FPオフィス縁 代表取締役 中村 恒瑛 氏 開催日：12月2日（土） 参加者数：25名 2回目：キャリアコンサルタントによる適職診断 講師：国家資格キャリアコンサルタント/Style代表 小西 凡子 氏 開催日：1月20日 参加者数：21名 3回目：教えて！在宅ワーク先輩！&Canva活用術 講師：きっかけねっと代表/任意団体kikkake代表 池田 恭子 氏 開催日：2月17日 参加者数：41名	ゆめぼぼら講座のひとつとして、「働くきっかけ応援セミナー」を開催しました。本セミナーでは、いずれも働く女性の知識や能力の向上に資する講座を全3回行いました。 今後も取り組みを継続し、支援機会の拡充を図ります。	人権推進	
		2	女性の職域拡大	山口市女性活躍職場環境改善助成金 補助実績：5件 働く意欲を持つ女性が、能力を伸ばしながらいきいきと働ける職場環境の整備を目指し、市内の事業所における女性の就業継続や職域の拡大をはじめとした女性活躍推進のための取組にかかる費用の一部を補助 パパたちの育児参画フェスタ 開催日：1月28日 参加者数：85名 子育て中の男性や家族向けの家事・育児参画をテーマにしたトークショー等を、女性の社会活躍において不可欠となる男性の家事・育児への参画に向けた取り組みとして実施	パパたちの育児参画フェスタ実施し、性別による役割分担意識の解消、男性の育児休暇取得の促進に繋がりました。 引き続き助成金の活用やセミナーでの周知を行うことで、女性の職域拡大を促進していきます。	ふるさと産業振興	

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画 頁数
2	2	3	女性の就業・起業の支援				
		3	再就職の支援	アクティブシニア就労支援事業 高齢者の就労意欲を喚起する「アクティブシニアセカンドライフ応援セミナー」の開催と、ハローワーク山口との共催による市内中小企業と高齢者の就労マッチングを図る交流会を実施 ・アクティブシニアセカンドライフ応援セミナー 開催日：10月19日 参加者39名（うち女性13名） ・アクティブシニアと企業の交流会 開催日：11月20日 参加者29名（うち女性6名） 参加企業：22社 面談数：102回（求職者ひとりあたり平均3.52社以上の企業と面談）	引き続きセミナー及び交流会を行うことで、再就職に対する意識を高め、就業を促進していきます。	ふるさと産業振興	33
			再就職の支援	男女共同参画センターゆめぼぼら講座 働くきっかけ応援セミナー 1回目：ファイナンシャルプランナーによる家計不安解消＆103万円の壁突破術 講師：ファイナンシャルプランナー/株式会社FPオフィス縁 代表取締役 中村 恒瑛 氏 開催日：12月2日（土） 参加者数：25名 2回目：キャリアコンサルタントによる適職診断 講師：国家資格キャリアコンサルタント/.Style代表 小西 凡子 氏 開催日：1月20日 参加者数：21名 3回目：教えて！在宅ワーク先輩！&Canva活用術 講師：きっかけねっと代表/任意団体kikkake代表 池田 恭子 氏 開催日：2月17日 参加者数：41名	ゆめぼぼら講座のひとつとして、「働くきっかけ応援セミナー」を開催しました。本セミナーでは、いずれも就業意識や能力の向上に資する内容の講座を全3回行いました。今後も取り組みを継続し、支援機会の拡充を図ります。	人権推進	
			起業の支援	山口商工会議所へのセミナー事業費補助 山口商工会議所等が開催する起業の促進及び支援を目的とする起業カレッジ及びマネジメントプラン策定講座に対し、補助を行った ①起業カレッジ ・起業たまご塾（起業の流れや基礎知識を学ぶ1日セミナー） 開催日：9月3日 参加者数：33名 ・起業塾（事業を成功させる為に必要な「事業計画」を作成） 開催日：9月17日から全8回開催 参加者数：19名 ・創業フォローアップセミナー（起業・経営に必要な税務知識とIT活用セミナー） 開催日：1月20日から全4回開催 参加者数：計86名 ②マネジメントプラン策定講座（中長期の経営戦略を策定するセミナー） ・経営力向上セミナー（自社の経営持続化の検討と経営持続化事例の研究） 開催日：9月14日から全2回開催 参加者数：計35名 ・経営革新塾（経営計画の見直しや策定方法に関するセミナー） 開催日：10月5日から全6回開催 参加者：11名 UJIターン創業者支援補助金 交付実績：4件 新規創業者に対し、創業時にかかる店舗改装費や事務機器購入費に対し、補助を行った（補助対象経費の3分の1 上限50万円） 創業広告支援補助金 交付実績：15件 創業後間もない事業者の広報活動に係る経費に対し、補助を行った（補助対象経費の2分の1 上限10万円） 産業交流スペースMegribā（メグリバ） 市内及び圏域内の起業創業支援や中小企業支援、産業人材の育成を目的に、セミナーや相談会を実施 ・主催：59回 ・共催：34回 ・外部：110回 ・相談会：123回	山口商工会議所が開催するセミナーについて、多くの方が参加されました。セミナーのテーマや採用する講師等、参加対象者のニーズに適した内容を引き続き提供していきます。	ふるさと産業振興	
2	2	4	多様で柔軟な働き方の実現に向けた支援				
		4	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発	令和5年4月に山口市特定事業主行動計画を策定し、仕事と子育てが両立できる職場環境の整備やワーク・ライフ・バランスの推進等に取り組むとともに、各所属に取組内容と制度の活用、手続き等について周知を図った	今後も引き続き、男女の区別なく、各種休暇や休業等を取得しやすい職場環境の整備に努めます。	職員	33
			ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発	山口市働く婦人の家において、働く人を対象に仕事と家庭の両立を図り就業を継続するためのスキルアップ講座を開催 バックアップセミナーⅠ（3回） 開催月：8月、10月 バックアップセミナーⅡ（4回） 開催月：11月、12月 バックアップセミナーⅢ（2回） 開催月：9月 バックアップセミナーⅣ（2回） 開催月：9月 バックアップセミナーⅤ（2回） 開催月：7月、8月	今後も講座の開催等により、普及啓発を行います。	ふるさと産業振興	
			ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発	情報誌「live（ライブ）」第25号の発行 特集記事：職場で、家庭で、地域で、ともに“私らしく” 部数：75,000部	男女共同参画情報誌liveの第25号において、ワーク・ライフ・バランスの実現を促す特集記事を掲載し、広く市内へ配布しました。今後様々な機会を通じて、企業や市民への意識啓発に努めます。	人権推進	

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標		施策の方向性	基本的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画頁数
2	2	4	働きやすい環境づくり	山口市女性活躍職場環境改善助成金 補助実績：5件 働く意欲を持つ女性が、能力を伸ばしながらいきいきと働ける職場環境の整備を目指し、市内の事業所における女性の就業継続や職域の拡大をはじめとした女性活躍推進のための取組にかかる費用の一部を補助	引き続き助成金の活用を促すことで、働きやすい職場環境づくりを促進します。	ふるさと産業振興	34
		4	育児・介護休業制度等に関する広報・啓発の推進	令和4年11月に「職員のための育児ハンドブック」を更新、令和5年4月に山口市特定事業主行動計画を策定し、各所属に通知するとともに、制度概要と手続き方法について周知を図った 「新規採用職員中間研修」を実施し、制度概要について説明を行った 開催日：6月22日 場所：山口市役所 参加者数：62名	研修等による意識啓発を行いました。 今後も引き続き、男女の区別なく、育児や介護に関する休暇や休業等を取得しやすい職場環境の整備に努めます。	職員	
		4	育児・介護休業制度等に関する広報・啓発の推進	「山口市働く婦人の家」において、仕事と家庭の両立支援のほか、育児や介護休業を取得しやすい職場環境となるよう、意識啓発に関連した各種講座を開催 ①両立支援講座（バックアップセミナー1） 開催数：3回（8月、10月） ②介護教室（バックアップセミナー2） 開催数：4回（11月、12月）	引き続き、各種講座の開催やパンフレットの配布等により、意識啓発を推進します。	ふるさと産業振興	
2	3	仕事と生活の調和の推進					
2	3	1 男性の家事・子育て・介護等への参画促進					
2	3	1	男性の意識改革と家庭・地域への参画の促進	男女共同参画センターゆめぼばら講座 公開講演＆トークの集い やまぐちの女性活躍新時代～どうする男性参画～ 講師：山口県立大学学長 田中 マキ子 氏、山口大学経済学部教授 小川 仁志 氏 開催日：1月27日 参加者数：240名	ゆめぼばら講座のひとつとして、男性の意識改革をテーマとしたトークイベントを開催しました。 今後も取り組みを継続し、引き続き男性への意識啓発を図ります。	人権推進	34
		1	子育てに関する情報提供の充実	やまぐち子育て福祉総合センターにおいて、教育・保育・子育て支援などの情報提供を行った（相談利用者数：905人 延べ相談件数：918件）	引き続き、ニーズに応じた情報提供を行います。	保育幼稚園	
			子育てに関する情報提供の充実	子育てに関する情報を掲載した「山口市子育て支援情報ハンドブック」を内容を改定し、年1 回発行（発行部数：4,000部） 市ウェブサイト「山口市子育て応援サイト」の運営を通じて、情報提供の充実を図った	今後も、男性の子育て参加が促進されるよう、情報提供の充実を図ります。	こども未来	
		1	父親を対象とした子育て支援講座の開催	妊婦とそのパートナー、産後半年までの夫婦やカップルを対象に、夫婦のコミュニケーションや自分らしい子育て、理想のわが家について考える「家族応援講座」を開催（開催回数：2回 参加者数：計92人）	妊産婦とパートナーお互いが違いを理解し合い、自分らしい子育てについて考える機会となっています。 講座の内容を見直し、子育て支援の情報提供の充実や各種体験ブースを設け、子育て世代とも交流できる内容に拡充します。	子育て保健	
		1	地域子育て支援拠点施設の充実	地域の子育て中の親子、特に未就学児がいる家庭の親子の交流促進や子育てに関する相談、援助等を行った ・事業内容 (1)子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (2)子育てに関する相談・援助の実施 (3)子育て関連情報の提供 (4)子育て及び子育て支援に関する講座等の実施 (5)地域の子どもと保育園児童との交流（保育所併設型） ・実施箇所：市内 26か所 ・年間利用者数：61,201人	今後も、子育て親子の交流や子育てに関する相談、情報の提供などを行い、イベント等への父親の参加を促進します。	こども未来	35
		1	男性介護への参画の促進	介護者の会や地域の種々な会合で介護に関する情報提供を実施 若年性認知症のつどい「若い家族の集い」（令和5年度は1回開催） 参加者数：26人 内容：介護者の健康管理、介護に関する情報交換	介護への参画状況や考え方、価値観も多様であることから、過剰な介護をされる方がある一方で、介護サービス量の不足等不適切と思われる介護をされている方も見受けられます。 適切な介護サービス導入への理解や制度の活用、介護者同士が交流できる機会の紹介等、介護者支援を継続します。	高齢福祉	
			男性介護への参画の促進	情報誌「live（ライブ）」第25号の発行 特集記事：職場で、家庭で、地域で、ともに “ 私らしく ” 部数：75,000部	男女共同参画情報誌liveの第25号において、男性の介護参画に関する特集記事を掲載し、広く市内へ配布しました。 今後も様々な機会を通じて、市民への意識啓発に努めます。	人権推進	
		1	男性市職員の積極的な子育てへの参加	令和5年4月に策定した山口市特定事業主行動計画について、男性職員の育児休業取得率の目標が100%となるよう令和6年2月に改定するとともに、各所属に取組内容と制度の活用、手続き等について周知を図った 「新規採用職員中間研修」を実施し、制度概要について説明を行った 開催日：6月22日 場所：山口市役所 参加者数：62名	研修等による意識啓発を行いました。 今後も引き続き、男女の区別なく、育児に関する休暇や休業等を取得しやすい職場環境の整備に努めます。	職員	

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標		施策の方向性		基本的施策		具体的施策		内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)		評価及び未達成時の課題		担当部署		計画頁数	
2	3	2 家事・育児・介護支援の充実													
2	3	2	保育サービスや放課後児童クラブの充実	延長保育実施園：公立8園、私立27園、へき地2園 計37園 休日保育実施園：私立1園（年間延べ利用者数：299人） 一時保育実施園：公立2園、私立7園 計9園（年間延べ利用者数：5,512人） 病児保育実施園：市内4か所（年間延べ利用者数：5,572人）						今後も、多様なニーズに応じたサービスの充実に努めます。		保育幼稚園			
			保育サービスや放課後児童クラブの充実	小学校1～6年生までの児童を対象に、放課後児童クラブ58学級を開設（直営1、委託15、指定管理者42） 入級状況（令和5年5月1日現在） ・合計：2,635人（58級） ・待機児童：220人（18学級） 内訳 1年生：1人 / 2年生：4人 / 3年生：39人 4年生：124人 / 5年生：39人 / 6年生：13人 ・障がい児受入状況：118人（47学級） 放課後児童クラブの整備等 ・はちのこ第3学級（小郡小学校区）の定員拡充（定員60人増）						放課後、留守家庭になる児童が、放課後を健やかに過ごすことができるよう、各小学校区において放課後児童クラブの運営に努めました。 今後も、共働き家庭の増加等によるニーズを踏まえ、新設や老朽・狭小施設の建替、新規学級の開設等による定員の拡大を進め、待機児童の解消を目指します。		こども未来			
		2	ファミリー・サポート・センターの充実	ファミリー・サポート・センター事業 会員数の確保と会員同士の交流の強化に努めた 会員数：依頼会員809人、提供会員184人、依頼・提供会員110人 計1,103人 活動回数：2,676件 ・保育施設や放課後児童クラブへの送迎 ・保育開始時間や終了後の預かり ・放課後の預かり ・習い事の援助 など						ファミリー・サポート・センター事業は、広報誌の発行や交流会の開催など、会員数の増加と会員同士の交流に努めています。しかしながら、依頼会員に対して提供会員が少ない状況にあり、十分な互助関係を保つためにも提供会員の確保が課題となっています。		こども未来	35		
		2	介護サービスの充実	介護サービス基盤の整備 できるだけ住み慣れた地域で生活を支えるためのサービス（地域密着型サービス）を整備 令和5年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：1か所 介護サービス相談員の派遣 介護サービス利用者や家族の不安を把握、解消するため、介護サービス提供の場に介護サービス相談員を派遣し、介護サービス利用者と介護サービス提供事業者の橋渡しを行った 令和5年度 実相談者数：126人 相談件数：128人						3年に1度改定する介護保険事業計画に基づき、計画的に介護サービスの充実に向けた取り組みを進めています。 今後も、高齢者や認定者数の推移を見込んだ介護サービス基盤の整備や、介護サービス相談員の派遣などを通じて、適切な介護サービスを利用できる取り組みを進めます。		介護保険			
		2	地域包括支援センターの運営	高齢者の日常生活全般に関する総合相談支援業務の実施 相談延べ件数：16,976 件 認知症高齢者支援体制や高齢者虐待防止などの権利擁護業務の実施 ・認知症地域ケア専門部会：2回 ・認知症予防講座：20回 ・認知症サポーター養成講座：44回 ・高齢者虐待防止に関する啓発回数：43回 ・高齢者虐待防止ネットワーク推進会議：1回 高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、適切なサービスが継続的に提供できる支援体制を構築する包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を実施 要支援認定者及び基本チェックリスト等の判定で生活機能の低下がみられる高齢者を対象に、介護予防ケアマネジメント等を実施						複合的な課題を抱える相談が増加しており、地域包括支援センターに併設された「まちの福祉相談窓口」の相談員と連携して、必要な機関や制度に繋いでいます。 併せて地域包括支援センター職員の相談支援における対応力向上を図ることも必要なため、研修内容に取り入れ実施できるようにします。		高齢福祉	36		
2	2	家族介護者の支援	認知症高齢者を支える家族等や、高齢者を在宅で介護している家族等が、集い交流を深め、介護に関する情報交換や研修を行う介護者の会等の活動を補助 補助金額：2,000円／1会員 介護者の会等：山口地区認知症を支える会 やすらぎの会 山口市阿東認知症を支える家族会 山口市介護者の会 補助金額計：240,000円						介護者の会等の活動は、高齢者等の在宅生活や介護を行う家族の支援に大きな役割を果たしています。 今後も介護者が参加しやすい活動ができるよう、介護者の会等を支援していきます。		高齢福祉				

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画頁数	
2	4	地域・社会活動における男女共同参画の推進						
2	4	1	性別に関係なく地域・社会活動に参画できる機会の確保					
2	4	1	地域における女性の参画の促進	自主防災組織数・組織率は前年度に引き続き増加しており、防災訓練や研修に参加された（女性参加者も約200人増加）	今後も引き続き、防災意識の向上に取り組めます。	防災危機管理	37	
			地域における女性の参画の促進	各地域交流センターを通じて、地域の関係団体に対し、翌年度の地域活動における役員の選任について、女性適任者の登用にに向けた積極的な取り組みを依頼	地域活動における役員等の選任について、女性適任者の登用にに向けた意識啓発を行いました。 今後、各地域の状況やニーズをヒアリングし、若い世代や女性が地域活動へ参加したいと思えるようなきっかけづくりとなる研修を検討します。	協働推進		
			地域における女性の参画の促進	女性消防団員活性化全国大会（11月16日 石川県 女性団員8名参加） 全国的女性消防団員が集い、日頃の活動や意見交換を通じて連携を深める女性消防団員活性化全国大会へ参加 女性消防団員活性化会議（1月27日 山口県自治会館 女性団員15名参加） 女性団員の活性化を目的とした県主催の会議へ参加 女性消防団員入団促進会議（2月10日 山口市役所 女性団員40名参加） 女性消防団員の入団促進を目的として、広島市西消防団から消防団等充実強化アドバイザーを招き研修会を開催	消防団員に占める女性の割合は、令和6年3月時点で7.1%であり、目標値10.0%を下回っています。 今後も引き続き女性消防団員の活躍推進を図るとともに、新たな女性消防団員の確保に繋がります。	警防		
			地域における女性の参画の促進	所管している地域活動団体や社会教育団体に対し、より多くの女性の意見を反映させる環境づくりに向けた啓発活動を行った	学校や地域等に対して、青少年指導員を推薦いただく際に男女比に配慮いただくよう依頼することを検討します。	社会教育		
			地域における女性の参画の促進	男女共同参画講演会 聞かせて「女性の活躍」今もう一度、金子みすゞのまなざしを！講演会&コンサート 講師：シンガーソングライター／ラジオパーソナリティ ちひろ 氏 開催日：10月28日 場所：小郡地域交流センター 参加者数：125名 男女共同参画に関する意識啓発や資質向上を図る事業への補助金の交付：計4団体 山口県男女共同参画推進月間（10月）に、秋穂・阿知須・徳地図書館にて、男女共同参画に関する図書展示と周知啓発を実施（期間中來場者数：7,043人）	小郡地域の女性団体が主体的に企画・運営する講演会を市の委託により開催したほか、意識啓発や資質向上を図る自主事業に対して補助金を交付しました。 また、秋穂・阿知須・徳地地域の図書館において関連図書の展示と啓発コーナーを設けました。 今後も取り組みを継続し、引き続き地域における女性参画の促進を図ります。	人権推進		
2	4	1	社会教育団体の活動の支援	社会教育団体の活動に対して支援を行うことで、男女がともに主体的に地域活動や市民活動に参加することを促した 補助金交付：山口市こども会育成連絡協議会 2,272 千円 山口市連合婦人会 759千円	引き続き、社会教育団体への支援を通じて、男女共同参画についての意識啓発を行っていきます。	社会教育	37	
			市民活動の普及啓発と団体の支援	広報紙の発行 ①さぼらんで事業情報（部数：600部） ②さぼカフェかわら版（部数：1,000部） ③「助成金情報」 ・LINEにて助成金情報配信希望の団体向けに随時配信（登録者：27名） ・Facebookを利用している団体向けにタイムラインで情報をシェア ④「ええやん新聞」年2回発行（部数：30,000部） ホームページの運用 ①ホームページ（年間アクセス数：62,662件 年間アクセス実人数：22,528人） ②登録団体ブログ反映機能の利用（利用団体：329団体 年間記事数：976） SNSの活用 ①Facebook … さぼらんでの近況報告及び団体活動を発信 いいね、フォロワー数：986人 年間記事数：43 ②Instagram（ボランティア）… 主に一般市民に向け、ボランティア情報を発信 いいね、フォロワー数：561 人 年間記事数：45 ③Instagram（ええやん）… 主に一般市民に向け、ええやん新聞の裏話などを発信 いいね、フォロワー数：244人 年間記事数：41 ④Instagram(SDGs) … 市民に向け、SDGs企画事業での市民からの投稿等を発信 いいね、フォロワー数：173人 年間記事数：154 ⑤LINE公式アカウント… 登録者に向け、主にさぼらんででのイベント情報を発信 いいね、フォロワー数：244人 年間記事数：81	市民活動に関わる情報発信を行い、市民活動の意義、社会課題の共有というメッセージ性を大切にしつつ、普及・啓発を行いました。 全ての講座において講座レポートをホームページにアップし、団体支援の情報として蓄積したほか、SNSを活用し、様々な世代に向けた情報発信を行いました。 また、各種講座を開催し、市民活動団体同士や、さぼらんと市民活動団体・地域コミュニティとの情報交換により、ネットワーク構築につなげました。 今後も、より多くの市民が市民活動へ興味を持ち、また、市民活動団体同士の連携が図れるよう、整理した情報を各種媒体を用いて広く発信していくとともに、様々な団体とのネットワークを構築し、社会変革に対応していきます。	協働推進		
			地域活動・市民活動における女性リーダーの育成	男女共同参画センターゆめぼぼら講座 地域における男女(とも)に活躍推進リーダー研修 地域が輝く～みんな誰でも活躍世代～ 講師：山口大学経済学部教授/ダイバーシティ推進担当副学長 鍋山 祥子 氏 開催日：12月3日 参加者数：67名 男女共同参画に関する意識啓発や資質向上を図る事業への補助金の交付 助成事業：男女共同参画先進地視察(北九州市) 実施団体：小郡女性団体連絡協議会 参加者数：8名	ゆめぼぼら講座のひとつとして、地域リーダー育成のための研修会を開催しました。 また、市内で男女共同参画を推進する団体の先進地視察に対して補助を行いました。 今後も取り組みを継続し、研修機会の拡充を図ります。	人権推進		

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画頁数
2	4	2	防災等男女共同参画の視点に立った地域活動の推進				
2	4	2	政策・方針決定過程への女性参画促進	1月に防災会議（書面決議）を開催 山口市防災会議委員51名のうち、女性は3名 （山口市消防団副団長、山口市連合婦人会長、山口市PTA連合会副会長）	充て職以外の第9号委員については、半数が女性委員です。 今後も引き続き、女性の視点を反映させながら計画の検討を行います。	防災危機管理	38
			政策・方針決定過程への女性参画促進	令和6年3月に、各地域交流センター所長に対して、所管の協議会等の委員の選任・改選の際には、従来の各団体長の充て職選任から団体推薦とし女性の推薦を依頼するなど、選任手法の見直しを含め積極的な取組を依頼	地域活動における役員等の選任について、女性適任者登用にに向けた意識啓発を行いました。 今後、各地域の状況やニーズをヒアリングし、若い世代や女性が地域活動へ参加したいと思えるようなきっかけづくりとなる研修を検討します。	協働推進	
			政策・方針決定過程への女性参画促進	PTA活動に男女ともに参画し、活動全般に男女どちらの意見も反映させることができるよう、啓発や支援に努めた	引き続き、PTA活動に対する支援を通じて、男女共同参画についての意識啓発を行っていきます。	社会教育	
		2	女性に配慮した防災対策の推進	前年度に引き続き、生理用品やオムツ・液体ミルクなど、女性や乳幼児のニーズに考慮した物資に加えて、サニタリーアイテムやショーツなどの「防災レディースセット」を備蓄し、必要に応じて各避難所に配備	今後も引き続き、あらゆるニーズに対応した備蓄の確保に取り組みます。	防災危機管理	
		2	男女共同参画の視点に立った講座等の実施	防災についての出前講座等を実施（回数：37回 参加者数：1,176名） 参加者数は昨年度よりも増加し、また約4割が女性であり、男女の別なく受講されている	今後も引き続き出前講座等を実施し、防災意識の向上に取り組みます。	防災危機管理	
3 男女ともに健康で安全・安心な暮らしづくり							
3	1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
3	1	1	配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援				
3	1	1	配偶者等からの暴力の防止に向けた広報・啓発の推進	面前DV等の事案について、生徒指導主任を中心とした研修会等で周知し、児童・生徒の心身の健全な成長が阻害されることのないよう対応した	面前DVについては、把握が難しい事案が多いため、今後も教職員の研修会で周知を行い、児童・生徒の細かな変化を見逃さないように注視していきます。	学校教育	42
			配偶者等からの暴力の防止に向けた広報・啓発の推進	市報や市ウェブサイトによる広報及び相談窓口等の情報提供 女性に対する暴力をなくす運動（11月12日～25日）への取り組み ・パープル・ライトアップ 開催日：11月12日～25日 場所：新山口駅南北自由通路、山口大学正門 ・新山口駅南北自由通路 マルチディスプレイを活用した啓発 開催日：11月1日～30日 ・ダブルリボン・バッジ（パープルリボンと児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンを組み合わせたもの）及びパープルリボン・バッジの着用 期間：11月1日～30日 ・ポスター掲示、のぼり掲出、チラシ・リーフレット等の配布による啓発 期間：11月12日～25日 場所：市男女共同参画センター・各総合支所・地域交流センター・保健センター・隣保館、山口大学 なお、企業・職場人権学習連絡協議会の会員に対して、チラシ等を送付 大学生の意見を取り入れて作成したデートDVに関する啓発リーフレットを「山口市二十歳のつとめ」にて配布（約1,500部） また、改正DV防止法の令和6年4月からの施行に向け、DV啓発リーフレットを改訂 山口市人権学習講座 「配偶者からの暴力のない社会をめざして」 講師：山口県男女共同参画相談センター所長 中本 優子 氏 開催日：10月17日 場所：嘉川地域交流センター 参加者数：27名	女性に対する暴力をなくす運動への取り組みをはじめ、様々な機会を通じて、配偶者等からの暴力の防止に向けた啓発を行いました。 DVや性暴力等は重大な人権侵害であるという意識の徹底を図るため、今後も積極的な広報を図ります。	人権推進	
		1	相談体制の充実	「女性相談員による相談」の実施 男女共同参画センターにDVや性暴力等に関する相談専用電話を設け、市民及び山口市にお勤めの方を対象に、週5日、女性相談員による相談窓口を開設。 また、人権推進課男女共同参画推進室においても、DVに関する相談等に対応。 ・男女共同参画センター 相談件数：234件（うちDVに関する相談67件） ・人権推進課 相談件数：5件（うちDVに関する相談 4件） 「男性相談員による電話相談」の実施 市民及び山口市にお勤めの主に男性を対象に、様々な悩みごとに関する相談窓口として、男性相談員による電話相談を、毎月第2・第4金曜日の17時から19時に開設。 相談件数：8件（前年度1件）	男女共同参画センター相談窓口では、女性相談員を増員することで、より相談しやすい環境を整備しました。 引き続き、被害者に寄り添った支援を行えるよう必要な体制の構築に努めます。 また、男性相談員による電話相談は、原則月2回に実施回数を増やすとともに広報を充実させたことで、前年度に比べ相談件数を増やすことができました。 引き続き体制整備を図るとともに、利用の周知に努めます。	人権推進	
3	1	1	被害者の安全確保	被害者の早期発見と安全確保を図るため、各種相談窓口を市報・市ウェブサイト等で広く周知したほか、「女性相談員による相談」を案内するカード等を、新たに山口大学と、市と連携協定を締結している株式会社丸久・生活協同組合コープやまぐち・株式会社イズミの市内各店舗に配布 DV被害申告者への対応にあたっては、被害者の状況に応じて、山口県や関係機関等との連携により安全確保を図った	被害者の早期発見のため、男女共同参画センターをはじめとする相談窓口について、より一層の周知を図りました。 今後も被害者の安全確保にあたり必要な環境を整備するとともに、被害者の状況に応じた支援に努めます。	人権推進	43

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画頁数
3	1	1	被害者の自立支援	住民基本台帳法に基づく住民基本台帳の一部の写しの閲覧、住民票の写し等の交付及び戸籍の附票の写しの交付について、DV及びストーカー行為等の被害者の保護を図る観点から、被害者の申出により必要な支援措置を行った（加害者による被害者の住所探索の防止） 令和5年度 件数：253件 対象者数：501人	住民基本台帳事務における支援措置については、住基法に基づき執行しているものであり、被害者保護の有効な方法です。なお、この項目における相談者は年々増加傾向にありますが、相談者の個人情報については特に高い秘匿性が求められるため、庁内横断的な対応に課題があります。	市民	43
			被害者の自立支援	令和5年度のDVを要因とする相談は9世帯（生活保護受給世帯：0世帯 受給世帯以外：9世帯） なお、9世帯のうち8世帯は生活保護申請に至り、いずれも生活保護受給が決定	生活困窮に陥った被害者に対し、生活保護制度の利用を含めた経済的な支援を実施しています。	地域福祉	
			被害者の自立支援	高齢者本人の生命や身体に重大な危険が生じるおそれがある場合、早急に介入する必要があることから、老人福祉法の規定による高齢者（被虐待者）本人を一時的に保護するための緊急ショートステイの措置や、特別養護老人ホームへの入所措置、もしくは入院等の手段の中から適切なものを選択し、介入 令和5年度の配偶者からの暴力等件数：4件	関係機関と連携し、虐待に対して適切な支援や情報提供を行うことができています。今後も関係機関と連携し、虐待の未然防止・早期発見に向けての取組の強化及び被害者の保護等に努めます。	高齢福祉	
			被害者の自立支援	障がい者虐待に関する身近な相談・支援窓口として、山口市障がい者基幹相談支援センター内に障がい者虐待防止センターを設置し、専門職による対応を行うとともに虐待防止に関する普及啓発に努めた 令和5年度 配偶者からの虐待に関する相談等の実績：面接2件	障がい者が尊厳ある生活を送ることができるように、引き続き関係機関と連携し、相談者の状況に応じた各種情報提供や支援を行っています。	障がい福祉	
			被害者の自立支援	窓口や電話で相談があった際は、必要に応じて相談機関の案内を行うとともに、状況に応じて山口市国民健康保険の加入手続きを案内し、保険証を交付した。 令和5年度 相談件数：6件、保険証交付件数：6件	母子生活支援施設への入居者等に対し、山口市国民健康保険への加入手続き、保険証の交付を行いました。引き続き関係課と連携し、対象者へ適切な対応を行います。	保険年金	
			被害者の自立支援	各種健康診査及び予防接種に関する情報提供の実施	引き続き、関係機関と連携し、相談者の状況に応じた各種情報提供や相談機関の紹介を行います。	健康増進	
			被害者の自立支援	配偶者等からの暴力による被害者やその子どもが安心・安全に生活できるよう、児童手当・児童扶養手当の制度周知や支給を行った	今後も、被害者やその子どもが安心・安全に生活できるよう、児童手当・児童扶養手当の制度周知や支給を行います。	こども未来	
			被害者の自立支援	DV被害者の母子保護のため、県外の母子生活支援施設への広域入所措置を行った 新規0世帯（0人）、継続2世帯（6人）、退所0世帯（0人） 民設民営の市内母子生活支援施設に、経済的・住宅事情等の困窮による母子保護のため、入所措置を行った（離婚が成立しており、配偶者から逃れる必要性はないものの精神的に不安定である者等の支援も行う）	配偶者から逃れたいDV被害者で、母子保護を必要とする場合には、今後も緊急一時保護や広域入所措置を行います。また、経済的・住宅事情等の困窮により母子保護が必要な場合には、市内の母子生活支援施設への入所措置を行うとともに、山口市男女共同参画相談センターとも連携しながら対応します。	子育て保健	
			被害者の自立支援	DV被害者からの市営住宅への入居相談に対応 令和5年度 DV被害者市営住宅入居件数：0件（相談件数：2件）	入居に必要な書類の一部省略などにより速やかに入居できるよう配慮しています。また、入居者情報が外部に漏洩しないよう、各総合支所と連携を図っています。	建築	
			被害者の自立支援	各関係機関によるケース検討会議に参加 また、各学校では情報の取扱いに十分注意しつつ、教職員間での情報共有に努めた	引き続き、同伴児童の心身の健全な育成を確保できるよう配慮します。	学校教育	
			被害者の自立支援	住民基本台帳事務における支援措置について、閲覧用選挙人名簿に記載されている支援対象者の非表示処理を行った（9件）	今後もDV及びストーカー行為等の被害者保護のため、市民課からの情報提供により、選挙人名簿の非表示処理について対応を行います。	選挙管理委員会	
		1	関係部署、関係機関等との連携強化	庁内の配偶者暴力相談窓口担当者一覧を作成するとともに、県主催の初任者研修会への参加を取りまとめ こども家庭センター開設に伴い、庁内連絡会議に参加 DV対策庁内連絡会議の開催 開催日：3月12日 場所：山口総合支所 ・実務講義「困難な問題を抱える女性への支援について」 講師：山口市男女共同参画課主事 別府 嵩大 氏 ・情報提供 山口警察署生活安全課 人身安全対策係長 向井 哲也 氏 山口南警察署生活安全課 生活安全係長 室田 雅史 氏 ・連絡会議 (1)DV相談件数について (2)取組み状況報告及び事例検討 (3)関係機関への質問事項	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い令和2年度より書面にて開催していたDV対策庁内連絡会議を、会議形式に戻して開催し、窓口担当者に対する実務講義や警察署職員を招いての情報共有等を行いました。今後も庁内関係課等との連携を密にし、被害者が利用しやすい相談体制の充実に努めます。	人権推進	44

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標		施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画 頁数	
3	1	1	子どもの安全の確保	児童虐待防止推進月間（11月）に合わせて、広報・啓発活動の実施 ・市報やまぐち（10月15日号）に記事掲載 ・チラシ封入ティッシュ・オレンジリボン配付 ・庁舎に啓発幟掲揚、啓発用ポスター掲示、公用車に啓発ステッカー貼付 ・児童虐待予防啓発パンフレット・グッズ（ウェットティッシュ、マスク）の作成・配布 ・オレンジリボン街頭啓発活動（中心商店街） ・オレンジツリーの設置、オレンジライトアップ（県と共催） ・児童虐待予防啓発講演会の開催（3月） 要保護児童対策地域協議会開催 代表者会議：1回 実務者会議：2回 個別ケース検討会議：37回 養育支援訪問事業による支援実施 訪問家庭数：53世帯 訪問延件数：205件	引き続き、児童虐待防止のための広報・啓発活動を実施します。 また、要保護児童対策地域協議会を開催し、児童相談所をはじめ、関係機関との連携強化を図ることにより、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、不適切な養育状態にある家庭等、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭を訪問し、指導、助言、家事・育児等の援助を実施します。	子育て保健	44		
			子どもの安全の確保	支援が必要なケースについては、各関係機関によるケース検討会議に参加 また、DV等の情報が入った場合には速やかに関係機関に報告し、虐待の疑いがあれば状況把握に努め、早期対応を心掛けた DV等による他市からの転入の際には、住民票の異動がなされていないことが多いため、区域外就学の手続きを行うとともに、就学学校へ個人情報の保護等の配慮について指導を行った	DV等のケースは年々増加していますが、今後も母子の安全と児童の適正な就学が確保されるよう配慮します。	学校教育			
			子どもの安全の確保	要保護児童対策地域協議会の市町部会及び実務者会議・研修会に出席し、関係機関との連携強化を図った	引き続き関係機関との連携強化を行い、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。	人権推進			
3	1	2 性犯罪・性暴力を許さない地域社会づくり							
3	1	2	性犯罪・性暴力の防止及び被害者の支援	山口県が設置する「やまぐち性暴力相談ダイヤルあさがお」について、引き続き市報や市ウェブサイト等で広報するとともに、市男女共同参画センター、各総合支所、各地域交流センター等に案内カードを設置 「女性に対する暴力をなくす運動」において、啓発リーフレット・シール等を、市の各施設及び山口大学に配布	性犯罪・性暴力に関する正しい知識の啓発活動を行うとともに、今後も、被害者が迷わず相談できるよう、相談窓口に関する情報の周知に努めます。	人権推進	48		
3	2 生涯を通じた健康増進の支援								
3	2	1 ライフステージに応じた男女の健康の保持増進対策の推進							
3	2	1	性差医療の普及啓発	更年期をテーマとした女性の健康づくり教室や、更年期以降の女性に起こりやすい骨粗鬆症を予防する教室を開催 ・女性の健康づくり教室 開催場所：山口市保健センター 実施回数：1回 参加者数：28名 ・骨粗しょう症予防教室 開催場所：各保健センター 実施回数：4回 参加者数：153名	女性が生涯を通じて自らの健康状態に応じた的確な健康管理ができるよう、引き続き、健康教育・健康相談事業や市ウェブサイト等で啓発します。	健康増進	49		
			性差医療の普及啓発	思春期、妊娠・出産期の各ライフステージに応じて、健康教育、健康相談、訪問指導などの保健事業を通じ、性差医療に関する情報提供及び啓発を実施 思春期ふれあい体験教室（7回開催） 参加者数：310人 開催場所：中学校6校、高等学校1校	各種保健事業を通じて、思春期、妊娠・出産期特有の身体状況や健康管理についての正しい知識を啓発することができています。 引き続き、健康教育や健康相談等の保健事業で啓発を図ります。	子育て保健			
		1	妊娠・出産に関する支援	妊娠届出時保健指導 山口市保健センター、小郡保健福祉センター、秋穂保健センター、阿知須総合支所、徳地保健センター、阿東保健センターにて、母子健康手帳の交付に併せて保健師及び助産師による個別面接指導を実施 妊娠届出数：1,094件（オンライン届出者の割合は95%） 妊婦健康診査事業 妊娠届出時、妊婦健康診査受診票（利用回数14回）に加え、多胎妊婦健康診査受診票（上限5回）を交付し、実施医療機関等にて個別健診を実施 受診延べ件数：13,316件 やまぐち母子健康サポートセンター 安心して妊娠・出産・子育てができるように、妊産婦とその家族が抱える様々な不安等について、保健師及び助産師が支援を行った 相談延べ件数：6,602件 訪問延べ件数：1,279件 妊産婦及びその家族が抱える様々な精神面の課題に対し、公認心理士による相談を実施（22回開催） 相談延べ件数：49件	アプリからの妊娠届出を導入したことで、妊婦の負担軽減や相談支援の充実につながっています。 また、妊産婦健康診査事業を実施することで、医療機関と連携して妊娠中から産後の健康管理を行い、安心して出産・子育てができるよう支援しています。 産後ケア事業については、利用者負担を無料としたことや電子申請の導入により、利用者が拡大しました。	子育て保健			
1	不妊治療に対する支援	一般不妊治療費助成事業 医療保険適用となる不妊治療費について、夫婦1組1年度あたり、医療機関で支払った自己負担金に対して3万円以内を助成 令和5年度：96組 2,279,510円	本制度の対象者には、必要としているときに必要な情報を提供するとともに、不育症治療費助成制度と同様、対象者をとりまく環境及び社会に対する周知を図ります。	子育て保健					

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画頁数
3	2	2	2 リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する意識の浸透				
3	2	2	リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する意識の浸透	各ライフステージに応じ、健康教育、健康相談、訪問指導などの保健事業を通して情報提供及び啓発に努めた	男女ともに、リプロダクティブ・ヘルス／ライツについて認識を深めることができるよう、各種情報提供や相談体制を充実し、正しい知識の普及・啓発に努めていく必要があります。	健康増進	49
		2	リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する意識の浸透	思春期、妊娠・出産期の各ライフステージに応じて、健康教育、健康相談、訪問指導などの保健事業を通じ、リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する情報提供及び啓発を実施 思春期ふれあい体験教室（7回開催） 参加者数：310人 開催場所：中学校6校、高等学校1校	男女ともに、リプロダクティブ・ヘルス／ライツについて考えられるよう、各種保健事業を充実し、正しい知識の普及啓発に努めていきます。	子育て保健	
3	2	3	3 発達段階に応じた性教育の推進				
3	2	3	発達段階に応じた適切な性教育の推進	各学校において、児童生徒が生命・人間尊重、男女平等の精神に基づいた異性観を持つことで、望ましい行動をとれるようにすることをねらいとした、性に関わる年間指導計画を作成し、児童生徒の発達段階に応じた適切な指導を行った	年間指導計画を見直すことによって、児童生徒の発達段階や受容能力に応じた、適切な性教育の実施に努めます。	学校教育	51
		3	若年層における交際相手からの暴力（デートDV）の防止	生徒指導主任会等において、学校安全に関する危険予測学習（KYT）資料の周知及び積極的な活用を促した（KYT資料に、デートDVに関する教材も掲載）	今後も児童生徒の人権意識の醸成を図るとともに、児童生徒の危機意識・安全意識を高める安全教育の推進に努めます。	学校教育	
3	3	3	3 困難を抱えた方への支援				
3	3	1	1 相談しやすい体制・支援の充実				
3	3	1	相談・支援体制の充実	山口市内10か所に「ふくまる相談室」を設置し、福祉に関する困りごとの総合相談窓口として機能（内9件は地域包括支援センターに委託） なお、令和5年度のDVを要因とする相談は1世帯	DVを含む複合的な課題を抱えた被害者に対し、様々な関係機関と連携を図りながら支援を行っています。	地域福祉	52
			相談・支援体制の充実	母子・父子自立支援員による相談延件数：490件 （内訳）生活一般：168件、児童：81件、生活援護：238件、その他：3件 こども家庭センターの設置	子の就学や生活の安定のための母子・父子・寡婦福祉資金等の生活援護に関する相談や、離婚に伴う手続き方法、離婚後の住居・支援制度等に関する相談が多くなっています。 また、11月24日に、妊娠・出産・子育ての総合相談窓口として、こども家庭センターを設置しました。 児童福祉と母子保健が一体となり、地域を巻き込んだ包括的な相談支援体制を整えていきます。	子育て保健	
			相談・支援体制の充実	教育委員会事務局内に教育相談室を設けているほか、他の相談機関の周知に努めた また、相談内容に応じて関係機関と連携し、早期対応を心がけた	児童・生徒だけでなく保護者も相談しやすい雰囲気となる醸成に努めます。 また、関係機関との連携を強化し、相談内容に対する必要な支援の在り方について、検討を進めます。	学校教育	
		1	関係部署との連携強化	各種支援に関する情報提供の実施 子育て保健課と連携し、相談者の状況に応じて必要な支援が得られるよう対応	引き続き、子育て保健課等と連携し、相談者の状況に応じた各種情報提供や相談機関の紹介を行っています。	こども未来	
3	3	2	2 ひとり親家庭等に対する支援				
3	3	2	就業の支援	ハローワーク等と連携し、児童扶養手当現況届け出期間中に、ハローワーク及び山口市母子・父子福祉センターの出張相談窓口を開設 ひとり親家庭の母又は父に対し、就業に有利な資格取得のための給付金を支給 支給件数：高等技能訓練促進費 13件（13,863,000円） 自立支援教育訓練給付金 1件 （24,000円）	ひとり親家庭の就業を支援するため、関係機関と連携して相談に応じるほか、資格取得のために養成機関等で修業する場合や講座の受講を促しました。 今後も、母子・父子家庭の就業を支援し、経済的な自立支援を行います。	子育て保健	53
			経済的な支援	ひとり親家庭医療費助成制度により、母子または父子の保険診療による医療費の自己負担額を助成した。 また、こども医療費助成制度においては、父母の所得にかかわらず中学生までの保険診療による自己負担額を助成した。 受給者数（年度平均） ひとり親医療費助成制度：2,116人 こども医療費助成制度：14,387人	福祉医療費制度の運用により、安心して生活や子育てができる環境づくりに努めます。	保険年金	
		2	経済的な支援	ひとり親家庭等に対する支援として、児童扶養手当の制度周知や支給を行った	今後も、ひとり親家庭等が安心して生活できるよう、児童扶養手当の制度周知や支給を行います。	こども未来	
			経済的な支援	山口市母子父子寡婦福祉資金制度の相談、申請窓口として、母子・父子自立支援員が貸付に係る手続きを行った 貸付件数 就学支度資金：3件（1,380,000円） 修業資金：0件 技能習得資金：0件	ひとり親家庭の相談内容においても貸付に関する相談が多く、今後も県等と連携して、ひとり親家庭の経済的な自立支援を行います。	子育て保健	

① 山口市男女共同参画基本計画 実施状況報告書

基本目標	施策の方向性	基本的施策	具体的施策	内 容 (実施時期・回数・件数・場所・参加、対象利用人数等)	評価及び未達成時の課題	担当部署	計画頁数
3	3	2	子どもの生活・学習の支援	ひとり親家庭等の子どもが定期的に通える場所として、あらかじめ登録された小学生や中学生を対象に、ボランティア等による生活支援や食事の提供等を行う「居場所」や、学習支援を行う「学びの場」を開設 ・事業内容 (1)居場所：生活支援（食事の提供や生活習慣の習得など） (2)学びの場：学習支援（学習習慣の定着、学力向上など） ・実施箇所及び回数 (1)居場所：市内2か所（大歳、小郡）109回 (2)学びの場：市内6か所（湯田、平川、小郡、大内、宮野）185回 ・年間利用者数 (1)居場所：936人 (2)学びの場：766人	ひとり親家庭の子どもは、親との離別や死別等により精神面や経済面で不安定な状況に置かれるとともに、日ごろから親と過ごす時間が限られ、家庭内でのしつけや教育等が十分に行き届きにくい現状にあります。今後もひとり親家庭等の子どもの生活向上を図り、貧困の連鎖を防止します。	こども未来	53